

# 子育て支援コーナー

## なかよし保育園子育て支援センター

(☎96-4551・FAX22-9881)

### ★親子教室

- 1歳6カ月～2歳5カ月 5日(火)・12日(火)
- 2歳6カ月以上 26日(火)

### ★すくすく赤ちゃん

- ネンネ・寝返りグループ 7日(木)・14日(木)
- ハイハイ・ヨチヨチグループ 21日(木)

### ★ツインズ・デー 22日(金)

### ★マタニティおしゃべり広場 4日(月)

いずれも午前10時～11時30分 費用無料、申し込み不要

### ★料理教室 28日(木) 離乳食後期 定員5人

午前10時～11時30分 費用無料、要予約

## 市子育て支援センター

(はまなす保育所内 ☎・FAX24-1260)

### ★あそびの広場

年齢別グループで、ふれあい遊び・工作などを行います。  
指導員と一緒に親子で楽しく遊びませんか。

- 0歳～1歳半 8日(金)・22日(金)
- 1歳半～2歳 1日(金)・15日(金)・29日(金)
- 2歳～2歳半 6日(水)・20日(水)
- 2歳半～3歳 13日(水)・27日(水)
- 3歳～3歳半 5日(火)・19日(火)
- 3歳半以上 12日(火)・26日(火)

いずれも午前10時～11時 費用無料、申し込み不要  
(受付時間は午前9時30分～9時50分)

### ★十周年記念子育て講演会「子どもの発達とメディア」

講師 田澤 雄作氏 とき 9月30日(土)午前10時～11時30分

ところ はまなす保育所ホール

※詳しくは支援センターまでお問い合わせください。

## 中央児童館 (☎・FAX23-7406)

### ★作って遊ぼう

いろいろな廃品を利用して楽しいもの(手品カードなど)を作って遊べます。

9日(土) 午前10時30分～11時30分

対象 小学3年生～6年生

費用無料、申し込みは電話にて(定員30人) [先着]

## 河北子育て支援センター

(飯野川保育所内 ☎61-1601・FAX62-2359)

### ★あそびのひろば

センターに来て親子で楽しく遊んだりお母さん同士で子育てについて話し合ったりしてみませんか

7日(木) すこやか親子クッキング(要参加申し込み)

13日(水) 運動会ごっこをしよう

14日(木) 運動会ごっこをしよう

20日(水) 栄養指導(栄養士による講話)

月・水・木曜日に楽しい水遊びを実施しています。遊びに来てね!! (利用時間は、午前10時～11時30分)

### ★子育てひろば 地域に出向いています

<今月の予定> 「秋の自然に親しもう」

1日(金) 飯野川地区(子育て支援センター)

8日(金) 北境・東福田(東福田農事集会所)

12日(火) 針岡・間垣・釜谷(釜谷交流会館)

22日(金) 辻堂・三輪田(河北親林交流館)

26日(火) 長面・尾の崎(長面老人憩の家)

以上の地区に伺います。参加申し込み・問い合わせについては、地区の保健推進員または、河北子育て支援センターまでお願いします。

## 河南子育て支援センターパプラ (☎・FAX72-4670)

### ★わいわいサロン

(2名の指導員と親子で遊びましょう。申し込みは不要です。) 農村環境改善センター2階(パプラ) 午前9時30分～11時30分

#### ● 0・1歳親子

5日(火) タオルであそぼう!

12日(火) 絵本の読み聞かせ

19日(火) とばしてあそぼう!

26日(火) サロントーキング

#### ● 2歳以上親子

7日(木) タオルであそぼう!

14日(木) おばあちゃんの読み聞かせ

21日(木) とばしてあそぼう!

28日(木) サロントーキング

親子の上靴・飲み物・着替えなどをお持ちください。

★でんわ相談・来所相談・・・ひとりで悩まないで!(月～金)

### ★サークル活動支援(月・水・金曜日)

### ★スクエア いもほり会のご案内(さつまいも畑オーナー対象)

とき 10月1日(日) 午前10時30分～11時30分

ところ 旭山農業体験実習館(農園)

家族全員で収穫の喜びを味わいましょうね!

持ち物 軍手・スコップ・いも入れ袋 お弁当は自由です。

※駐車場は、上の畑近くの空き地をご利用ください。

※雨天時は、後日、各家庭で都合の良い日に収穫してください。

※看板は、来年も使用しますのでそのままにしておいてください。

お知らせ...各スクエア行事の集合写真がパプラにあります。

参加されて、まだもらっていない方はご連絡ください。

## 桃生地区子育て支援事業(桃生保健センター☎76-3360)

### ★遊びの広場

ところ 桃生保健センター

13日(水)・20日(水)・27日(水)

ところ 桃生文化交流会館(☎76-3418)

2日(土)・9日(土)・16日(土)・30日(土)

※いずれも午前9時30分から

### ★親と子の遊びの広場出前事業

ところ 檜崎分館 とき 28日(木) 午前9時30分～

### ★子育て電話相談 1日(金) ☎76-3360

対象者 どなたでもご相談できます。

相談内容 子育てに関すること

## 北上地区ひまわり子育て支援

### ★ひまわりキッズ 午前10時～11時30分

ところ 北上保健センター(☎67-2301)

6日(水)・13日(水)・20日(水)・27日(水)



## 表紙から

8月1日から2日間、石巻川開き祭りが行われました。水上行事ではメインイベントの孫兵衛船競漕・ミニ孫兵衛船競漕が住吉公園前の旧北上川を会場に行われ、波しぶきを上げながら白熱したレースで祭りを盛り上げていました。8年ぶりの1日、2日で、平日開催日となりましたが、皆さんの熱い思いを感じることができました。(シュウ)

## 編集後記

長い夏休みが終わり、学生の皆さん、また、お子さんの元気に振り回されてきたご家族の方、いかがお過ごしでしょうか。市の夏祭りの最後となる桃生地区の「ものつふれあい祭」が、9月9日に桃生植立山公園で行われます。私も、カメラ片手に会場内を駆け回っていますので、お気軽に声をかけてください。「市報の編集後記見ました」と言ってくれた方は、もれなくバチリ!市報に登場できるかも…。(◎)

## 石巻の人口と世帯数

平成18年8月1日現在  
( )内は昨年同月比

 81,873人 (-740人)	 87,418人 (-742人)
 169,255人 (-1,518人)	 59,475世帯(+450世帯)

石巻市文化財保護委員 谷川 正明

文の結びの言葉には、その地方の言葉遣いの特徴が色濃く現れます。石巻地方では、特に語調を強める文末表現が大変多種多様で豊かです。

今回は、念を押す意味や強意強調の意味の、文末の言葉（主に助詞）について考えて見ましょう。

①「ヤ」念を押す意味の終助詞ヤが語源

「早く行げヤ（行きさいよ）」と、強意で、「嫌だぐなつたヤ。」と、詠嘆の用法で用います。さらに、②から⑩までの、全ての言葉と一緒に使われます。

②「ド・ト」念を押す意味の終助詞ゾの音転

「俺、ししゃねド（知らないよ）」。「見だド」。「早く終わット。」と使います。①のヤとともに用いて、「あの人、行がねドヤ。」「一緒に見ットヤ。」となります。

③「ナ」詠嘆の終助詞ナ

「馬鹿だナ。」「明日は、雨降んナ（降るぞ。）」のように使います。①とともに用いて、「馬鹿だナヤ。」という使い方もよく聞きます。

④「チャ」念を押す意味の終助詞、サの音転

「あそこさ、あるつチャ（あそこに、あるよ。）」などと用います。①とともに、「そいなごど、言わねつチャヤ。」

仙台地方ではサをよく使いますが、石巻地方でサはあまり使いません。

⑤「シャ」丁寧語のデスナヤ。チャを丁寧と言う形

「お客さんが言ったのつシャ。」などと使います。さらに②の下に付け、「座ったドッシャ。」、疑問文で用いて、「何つシャ。」「どごさ行ぐのつシャ。」などと用います。①とともに、「何つシャヤ。」

⑥「オン」理由を表す終助詞モノの音転

「俺、言わねオン。（言わないもの）」派生した形とし

て、「言わねツツオン。（言わないということだ）」などとも使います。さらに、①とともに、「言わねオンヤ。」

⑦「ガラ、ツカラ」理由を表す接続助詞カラ、濁音化してガラ

「止めたガラ（止めたよ。）」。「もう止めツカラ（止めますよ。）」①とともに、「止めたガラヤ。」「止めツカラヤ。」

⑧「デバ、テバ」トイエバの音転。強く訴える意味

「ちゃんと行つたつデバ。」「もう行つたデバ。」①とともに、「言わねデバヤ。」

⑨「ワ」詠嘆の終助詞ワ 下降形のイントネーションで、関西方言とも共通

「もう食わねワ。」丁寧表現とともに使われることも多く、「終りにしたワ（しましたよ。）」「もう止めすワ。」

⑩「ケ」感慨・確認の意味の終助詞。語源は詠嘆の助動詞ケリ

「昔あつたツケ（あつたよ。）」と、感慨の気持ちを表します。ただし、ケの部分のイントネーションが上がっても下がっても、「あつたかな、ないよね。」の意味となります。①のヤとともに、「あつたツケヤ。」

⑪「ツ」トイウ、の音転

「あつたツツ（あつたと言うことだね。）」と言います。⑩のケとともに使うと、「おぼんつあんとして（一緒に）、行つたツケ（そうですね。）」①のヤ、⑥オンと一緒に使

って、「行つたツオンヤ。」という表現もあります。

⑫「ツ」トイウ、の音転

⑬「ツ」トイウ、の音転

⑭「ツ」トイウ、の音転

⑮「ツ」トイウ、の音転

「体ごとの愛情の重み」

石巻市立牡鹿第一保育所所長 武田 賢重

その昔、ある皇帝が行った有名な実験があると聞いたことがあります。

赤ん坊が、誰からも教えられず、話しかけられなかったらどうなるかという実験です。その部屋には、身寄りのないあわれな赤ん坊が集められました。育てるために必要なものは全部集められ、至れり尽くせりのものだったそうですが、ただひとつ、世話をする人はひと言も赤ん坊に話しかけてはいけないうまりでした。もちろん、母親の愛情を表す抱きしめること、可愛がることも許されませんでした。結果はどうなったでしょう。赤ん坊はみんな死んだそうです。

人間は、愛情なしに、心の交流なしには生きてはいけません。心理学の先生は言われます。人に一つのことを伝えるのに、7パーセントが言葉。38パーセントが声。55パーセントが顔によるのだそうです。「目は口ほどにものをいう」ということわざがあります。先ほどの実験ではありませんが、「体ごとの言葉」・「体ごとの愛情」の重みを、今の時代だからこそ強く感じるのです。

栄養のあるものを食べさせておけば、子どもは育つかも知れません。しかし、大切な人間らしい人間の心を育てるためには愛という、真心という栄養を食べさせなければ育ちません。つまり、自分の暑いことを忘れて子の緑蔭となり、自分の寒いことを忘れて子を寒さから守ろうとする。そのような切なる親心が、人間らしい人間を育てると思います。

「ただ着せれば良い、ただ食べさせれば良い」というものはありません。愛を着せ、愛を食べさせることが大事だと思います。

